

しまづくりフォーラム

2024年3月8日（金）

13：00～16：00（予定）

テーマ：博物館を活用した島づくり

東京都永田町 全国町村会館2階

※オンライン視聴も可能



本財団では、離島に関する有識者や研究者、各島で地域づくりに取り組む実践者からのご講演やご報告などを通して、島の将来像や振興策について考え、政策提言などに資するための研修会「しまづくりフォーラム」を不定期で開催しております。

今回のフォーラムでは、「博物館を活用した島づくり」をテーマに、離島の博物館が住民、地域振興に対しどのような役割を果たしているのか、島所在の博物館学芸員の方々にご講演いただき、現状の課題や今後の博物館活用などを討論していきます。

【講師】

①対馬博物館 尾上 博一 氏・谷尾 崇 氏

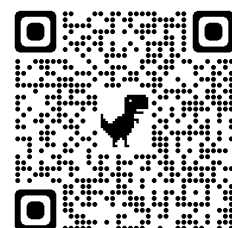
②利尻町立博物館 佐藤 雅彦 氏（オンライン）

③佐渡博物館 本間 裕徳 氏

④久米島博物館 砂川 暁光 氏（オンライン）

○ファシリテーター：千葉県立中央博物館分館 海の博物館 平田 和彦 氏

お申し込みは日本離島センターホームページから受けつけています。



「しまづくりフォーラム」開催のご案内

(2024年3月8日開催)

本財団では、離島に関する有識者や研究者、各島で地域づくりに取り組む実践者からのご講演やご報告などを通して、島の将来像や振興策について考え、政策提言などに資するための研修会「しまづくりフォーラム」を不定期で開催しております。

今回のフォーラムでは、「博物館を活用した島づくり」をテーマに、離島の博物館が住民、地域振興に対しどのような役割を果たしているのか、島所在の博物館学芸員の方々にご講演いただき、現状の課題や今後の博物館活用などを討論していきます。

【開催概要】

1. 日 時 2024年3月8日(金)
13:00～16:00(受付開始12:30)
2. 場 所 東京都千代田区永田町1-11-35
全国町村会館 2階「第1会議室」
(アクセス)
東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口 徒歩1分
丸ノ内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
<https://www.zck.or.jp/kaikan/access/index.html>
※希望者には事前登録制でオンライン配信いたします
3. テーマ 「博物館を活用した島づくり」
4. 講 師 ①対馬博物館 尾上 博一 氏・谷尾 崇 氏
②利尻町立博物館 佐藤 雅彦 氏(オンライン)
③佐渡博物館 本間 裕徳 氏
④久米島博物館 砂川 暁洸 氏(オンライン)
○ファシリテーター：千葉県立中央博物館分館 海の博物館 平田 和彦 氏
5. 参加費 無 料
6. 定 員 会場参加は50名程度
※希望者には事前登録制でオンライン配信いたします

7. 申 込 下記「しまづくりフォーラム参加申し込みフォーム」から3月4日(月)まで
にお申し込みください。

「しまづくりフォーラム参加申し込みフォーム」

<https://forms.gle/AvHPjr7LwEwBhjWj7>

8. その他 会場参加は、定員に達し次第、受付を締め切ります。予めご了承ください。
オンライン参加の方には、ご登録いただいたメールアドレス宛に、講演の視聴
URL を送付いたします。

【問い合わせ先】 公益財団法人日本離島センター (担当：石川・三木)

Tel : 03-3591-1151

◎個人情報の取り扱いについて

皆様からお知らせいただいている個人情報は、しまづくりフォーラムの開催案内に使用
させていただきます。

また、島に関する催しなどのご案内を差し上げる場合がございます。

個人情報につきましては、適切に管理され法令による場合を除き、第三者に提供や開示は
いたしません。

【講師プロフィール】

①対馬博物館学芸員 尾上 博一 氏・谷尾 崇 氏

対馬博物館は2022年4月に開館した対馬の歴史、文化、自然を伝える総合博物館。

考古学担当学芸員の尾上氏は文化財保護行政の経験を活かして、博物館の設立やその後の運営に携わる。自然史担当学芸員の谷尾氏は、絶滅危惧種ツシマウラボシシジミの保全に関する研究に取り組んできた。特別展の開催や昆虫標本教室などを通じて島の昆虫の魅力を発信している。

②利尻町立博物館学芸員 佐藤 雅彦 氏（オンライン）

利尻町立博物館は、1980年に開館し、現在は15万点の資料・標本を所蔵する。利尻島および周辺地域の調査、資料の収集・保管、展示、観察会などの活動を2名の学芸員が担い、島内外の多様な執筆者による研究紀要「利尻研究 Rishiri Studies」を発刊している。

佐藤氏は、昆虫系の学芸員として1990年から同館に勤め、研究助成制度の立ち上げや、コウモリ類、鳥獣寄生生物など様々なテーマの研究に関わってきた。

③佐渡博物館学芸員 本間 裕徳 氏

佐渡博物館は、「佐渡を一か所で学べる総合博物館を」との地域の声から、1957年に開館。佐渡の成り立ちから考古・歴史・民俗・芸能・動植物などを幅広く展示、現地でさらに深く学んでもらうための「佐渡の入口」的な展示となっている。

本間氏は、佐渡の美術・工芸関係を中心に多岐にわたる資料を取扱い、来館者へのガイドなどにも取り組む。

④久米島博物館学芸員 砂川 暁洸 氏（オンライン）

久米島博物館は2000年度に開館。総合博物館として、久米島の自然・歴史・民俗・美術工芸の収集・展示を通し、普及や発信などに努めている。

砂川氏は、琉球大学考古学研究室で「久米島のグスク出土の貿易陶磁器」をテーマに修士課程を修了。2018年4月から学芸員として勤務。久米島では水中遺跡をテーマに調査研究を進める。

○ファシリテーター 千葉県立中央博物館分館 海の博物館学芸員 平田 和彦 氏

平田氏は、海洋生態学・鳥類学を専門とし、特に漁業や観光など沿岸域の人間活動が生態系に及ぼす影響に関心を持つ。地域の自然を活用した教育・産業・観光振興に役立てる方法も模索、発信している。これまでに天売島・粟島・利島などで海鳥の生態を研究。2021年には島と海鳥をテーマとした企画展示「うみ鳥つぷ」を開催し、利島や伊豆大島などにも巡回した。青森県風間浦村ふるさと大使。

【当日の流れ】※変更することがあります

時 間		内 容
12:30	30分	受付／配信調整
13:00	10分	開会、挨拶、講師紹介
13:10	30分	講演① 対馬博物館（長崎県対馬島） 尾上 博一氏、谷尾 崇 氏
13:40	30分	講演② 利尻町立博物館（北海道利尻島） 佐藤 雅彦 氏
14:10	10分	休憩
14:20	30分	講演③ 佐渡博物館（新潟県佐渡市） 本間 裕徳 氏
14:50	30分	講演④ 久米島博物館（沖縄県久米島町） 砂川 暁洗 氏
15:20	40分	総合討論 ※ファシリテーター 千葉県立中央博物館分館 海の博物館 平田 和彦 氏
16:00	—	閉会

注) 各講演は質疑応答5分込み